

## 7月の活動

7月5日（土）日帰り山行

月に一回の山行です。今回のテーマは「夏合宿に向けてのステップアップ」です。夏合宿の体力測定も兼ねて秦野は塔ノ岳に行きました。

朝6時20分渋沢駅集合→6時48分バス乗車→7時10分大倉バス停到着

顧問より

「塔ノ岳のコースはきつくて面白くないコースで**厳しい戦い**です。」

「これだけ気温が高く湿気が多いから熱中症と脱水症状に気をつけましょう。30分ごとに強制的に水分を取らせませす。各チェックポイントで水量をチェックしますが、1Lを切った人がいたら堀山の家か花立山荘で水を買ってください。」

「あと、今日の気象条件では確実にヤマビルが出ます。ヒル忌避剤を持ってきたので各自くるぶしと登山靴にかけてください。あとヒルに食われた人がいたら塩も持ってきているので声をかけてください。」

準備体操後、入山。



↑コース全図





塔ノ岳はひたすら登るだけ・・・。



1年生はこれが実質「まともな」山行になります。先月は雨で途中撤退だったので・・・。





大倉高原（最初のチェックポイント）から見た秦野市街。



赤い点がチェックポイントの場所です。ここまで約1時間。ここで騒動が起こります・・・。





休憩をしていると、

「先生、これヒルですか？」

「あ、本当だ。とりあえず駆除するか。」

「塩対応しましょう。」→持参したアジシオをふりかけて駆除。

周りの人の背中とかを見てヒルがいないかどうか確認するように指示をしました。気になる人は登山靴の中を見るように言うと・・・



「先生！ヒルに食われました！」塩をヒルにかけるいわゆる「塩対応」です。

その言葉をきっかけに大倉高原は阿鼻叫喚の地獄に変わりました・・・。



ヤマビルの生態についてわかっていることをまとめると、

- ・高温多湿が好きで普段は枯葉の下に隠れている。
- ・温度が高い生き物が来ると寄ってくる。
- ・神奈川県ではシカの蹄にヤマビルが寄生し、シカの移動に伴い生息域を拡大している（昔は東丹沢に「しか」ヤマビルはいなかったのですが、ここ数年で西丹沢にもヒルが出るようになりました）。
- ・ヒルは吸血する場合に口からヒルジンという麻酔を分泌するためヒルが皮膚を食い破っても痛みは全く感じません（実際にヒルに噛まれた生徒も痛みはなかったようです）。ヒルの生息域に入った人が帰宅後に靴下を脱いだらヒルに噛まれたままだったということは登山ではよくある話です。

ヤマビルに噛まれても健康被害はありませんが、無理やり取ろうとすると皮膚が損傷するので塩をかけてヒルを取ることが一番人体にダメージが少ないようです。傷口を消毒して、虫刺されのクリームを塗った後に絆創膏を貼って処置完了です。

今回は顧問を入れて18名中2名がヒルに噛まれました。うち1名は靴下をヒルが食い破って血を吸っていました。このヒル騒動で20分程度タイムロスをしてしまいました・・・。



気を取り直して出発。





途中トイレ休憩で立ち寄った駒留茶屋（現在閉鎖中）。ここがコースの半分程度といったところでしょうか。



チェックポイントの堀山の家に着。ここでようやく10分休憩。この後に来る階段地獄に備えます。



今回のコースは通称「バカ尾根」と呼ばれています。特に堀山の家から花立山荘の間の階段は「まだ続くのか・・・」とメンタルをかなり削ります。体力的にも堀山の家以降がいちばんきつい場所です。大人でもバテる人が出る区間と言っても差し支えはありません。

出発時の下界の天気は曇りと高温多湿でしたが、標高が上がるにつれて気温が下がって涼しくなりました。それに加えてこまめな水分補給を行っていることやペースをゆっくりにしたためバテた生徒はほとんどいませんでした。





「先生、ハチがいます！」

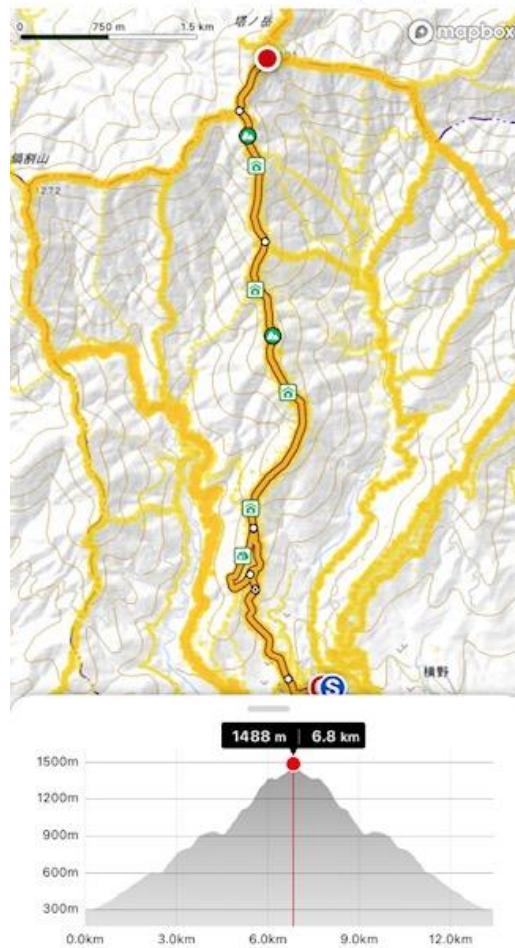
「あ、これヤマトヌマアブね。顔がハエみたいだろ。」

進化の過程でスズメバチに擬態したものらしいです。去年の夏合宿でも多く出沒しました。スズメバチは飛ぶときにホバリング（空中停止）ができて縦にも横にも飛ぶことができ、羽音も低く不快な音を出しますが、アブの羽音は若干高く、直線にしか飛ぶことができません。



花立山荘から見た鍋割山方面の様子です。これから先は軽いアップダウンをだらだらと進み山頂を目指します。





三ノ塔山頂に到着。ここで天気が回復し、強い日差しが照りつけました。



各自昼食をほおばっています。





山頂にある尊仏山荘で購入したカップ麺（５００円！）やコーラ（５００円）も格別です。



蛭ヶ岳方面





鍋割山方面



あれは大山山頂かな？





出発前の記念撮影 ここが標高1,488m  
あとはひたすら下ります。



通過地点の堀山の家で記念撮影。





最後の休憩ポイント 見晴らし茶屋  
疲労がだんだんたまり、口数も減ってきています。

#### 17:00 大倉バス停に到着

今回はヒルに噛まれた人がいたり、下山でゴール近くで転倒した人がいましたが大事に至らず無事でした。

今月末にはいよいよ3,000m越えの夏合宿になりますが、今年度の合宿は平塚中等教育学校と日程とコースが同じになったので、急遽7月21日（月・祝日）に合同ミーティングを行うことになりました。

次回はミーティングの様子から合宿終わりまでを報告します。8月上旬にホームページ掲載予定です。